

ヤマト福祉財団 NEWS

ヤマトグループ賛助会員向けニュース(季刊)

発行部数12万部・非売品

YAMATO WELFARE FOUNDATION

No.39

8月20日発行 2013 Summer

2013年度障がい者の働く場パワーアップフォーラム

障がいのある人の
幸せ度は
お給料の高さに比例する



2013年度障がい者の働く場パワーアップフォーラム 福岡会場



東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金
助成先を訪ねて

故郷の土地で、海で
もう一度、仲間とともに p07

この街で一緒に生きていく
障がい者のクロネコメール便配達

配達が大変な坂の地域だから、
僕たちが手を挙げた。 p12

スワン工舎卒業生訪問13

初めて手にしたお給料
夢はどんどん膨らみます p14



有富理事長による基調講演

夢へのかけ橋 プロジェクト



経済的な自立力を備えた
新しい福祉に向かって

『夢へのかけ橋プロジェクト』の入口 2013年度障がい者の働く場。パワーアップフォーラム

障がいのある人の幸せ度は お給料の高さに比例する

「障がいのある方の収入を増やし、夢を実現していく」ことを目的に、今年からスタートする『夢へのかけ橋プロジェクト』。このプロジェクトの入口が、7月に大阪、福岡、東京の3カ所で開催した「パワーアップフォーラム」です。

しくみを変えれば、職員の意識、行動が変わり、結果にも現れる

有富理事長の基調講演『夢へのかけ橋』経済的自立力を備えた新しい福祉に向かって』からフォーラムはスタートしました。

最初に提示したのは、国税庁が調査・発表した2010年の民間給与実態報告です。

「国民の実質中央値は年間所得224万円、最低限の生活を維持で



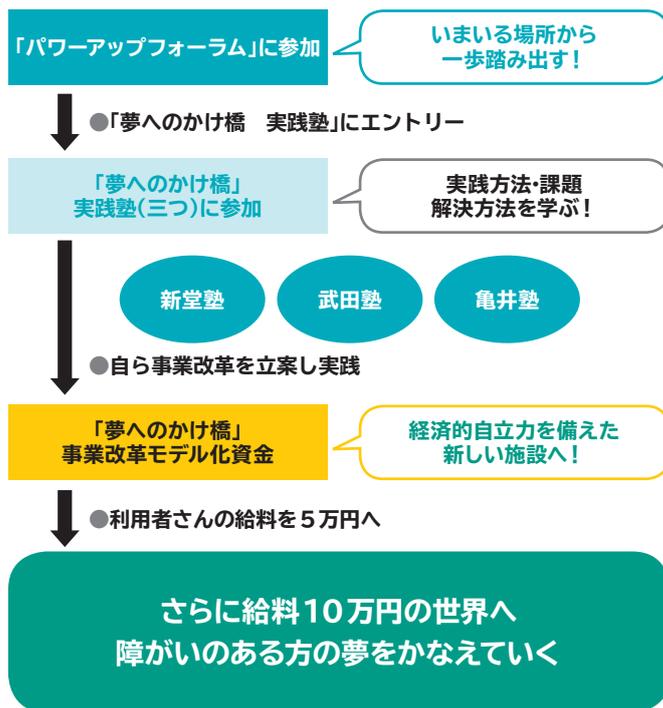
大勢の出席者で埋まった会場

きるだけの貧困線は半分の112万円となっていますが、全国の福祉施設作業所の平均給料は、約1万3000円、障害基礎年金（2級）7万6500円を足しても、94万円と貧困線を下回っています（左上図参照）。お給料を幸せ度のバロメーターとするならば、もっと上げていく努力が必要なのではないのでしょうか。

こうした現実の一方で、事業改革を進め、利用者さんたちの夢をかなえていく施設もあります。給料2万円で働き振りが変わり、5万円で生活が変わる。8万円で将来の夢も描くゆとりが生まれ、10万円を超えるトリートメントも発揮するプロフェッショナルになる…。そんな利用者さんの姿をまとめたDVDを上映しました。

「ファッションに目覚め、次の給料でどんな洋服を買おうかと楽しみにしている人がいます。ある人は趣味の写真を充実させたいと、一生懸命仕事に打ち込んでいます。みんな

『夢へのかけ橋プロジェクト』とは



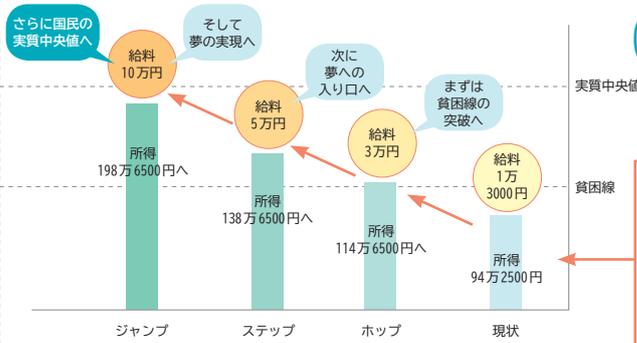
まずは「パワーアップフォーラム」に参加し、障がいのある方の夢をかなえるための行動を起こす意志を固めた施設は「夢へのかけ橋」実践塾にエントリーします。塾生となった施設は、自ら目標を立て、それを達成するための設計図をつくり、実践し

ていきます。これを具体的に推進するための援助が「夢へのかけ橋事業改革モデル化資金」です。援助を受けた塾生は「利用者さんの夢をかなえるモデル施設」として、給料5万円へ、さらに10万円の世界へのステップアップを目指します。

● 一般的可処分所得の現状 (国税庁調査)

国民の実質中央値…224万円
 ※実質中央値は、2009年国民生活基礎調査等価可処分所得による。

貧困線…112万円
 ※貧困線とは、生活に必要な最低限の物を購入するだけで、娯楽、嗜好品を買う余裕がない収入状態を示す指標。OECDの作成基準に基づき算出(中央値の1/2)。



現状を見つめ直し、障がいのある方の夢の実現へステップアップ

● 障がいのある方の所得の現状

障害のある方の平均所得…94万2500円

- ・障害基礎年金(2級) …78万6500円
- ・平均給料…1万3000円×12ヵ月

※福祉施設作業所の平均給料1万3585円 (平成23年度厚生労働省)



時流講座を行うきょうされん 藤井常務理事

なでハワイ旅行の夢を実現し、次はパリに行こうと盛り上がりつつある人もいます。この姿を見てみると「障がいのある方の幸せ度は、お給料の高さに比例する」のだと強く感じます。「夢へのかけ橋プロジェクト」は、より多くの利用者さんに幸せになっていただくためのものです。これに参加して、障がい者の働く場を「経済的に自立した夢のある職場」へと変える行動を起こしてください」と話しました。

それでも多くの出席者は、職員間での合意形成の難しさに、つい二の足を踏みがちです。そこで実際に成果を上げている施設はどのような取り組みをしているか、小倉昌男賞受賞者施設などの事例を紹介しながら「しくみづくり」についても説明。「しくみを変えることで、職員の意識が変わり、行動も変わってきます。そこではじめて結果が現れるのです。まずは、施設や組織のしくみを変えることから始めていきましょう」と呼びかけました。

小倉昌男賞の受賞者講演は、大阪会場(社福)まいづる福祉会の西澤心さんが、福岡会場(社福)ウィズ田の天野貴彦さんが、東京会場(社福)キャンパスの会の楠元容子さんが、それぞれの実践内容を講演されました。

特別報告を行ったのは、2010年より約3年間、実践塾の先駆けとして活動してきた「障がい者の暮らし変革塾(武田元さん)」と「障がい者の働くちから革新塾(新堂薫さん)」の二人の塾長です。ここでは

会場ごとにさまざまな施設が実践してきた成果を報告

きょうされん藤井常務理事による時流講座のテーマは「ディーセントワーク」です。

「ディーセントワークとは、尊厳のある労働、人間らしい働き方、品格のある労働」という意味。その実現には「生計を維持できるふさわしい賃金、選べる職種、本人に合ったスキルアップの機会を用意する」の3つが必要です。行政も、企業も、施設もこれを満足できているのでしょうか。いま障がいのある方の約99%が貧困線を下回り、ほとんどがワーキングプアの状況です。大切なのは、なんのために、誰のために我々は動いているのか。本来の主役「障がいのある方の声に耳を傾け、その夢をかなえる行動に踏み出してほしい」と話しました。

「しくみを変えて成功」した例として、塾生による体験談を交えた成果報告も行われました(この事例をp.5・p.6で紹介)。

最後は、藤井常務理事の司会のもと、小倉昌男賞受賞者と実践塾の二人の塾長、そして新塾長の亀井勝さんが参加し「経済的自立力を備えるための経営」をテーマにしたシンポジウムを開催。出席者の現場の悩みや質問にも答えながら、利用者さんの夢をかなえるため、いまいる場所から一歩を踏み出すことを呼びかけました。



シンポジウムでは会場から次々と質問が上がリ、今後の取り組み方について議論を深めました

「夢へのかけ橋」実践塾とは

新塾塾、武田塾、亀井塾の三つの「夢へのかけ橋」実践塾は、9月27日、28日の開講式、第1回合同研修会よりスタートします。

武田塾は、日次決算とPDCAの徹底で、早期問題発見とリアルタイムな改善を行い、売り上げを向上。新塾塾は、工程の分解や働く環境づくりを進め、セルからライン化へ転換し、適材適所の連携で生産性を高めています。

今年からスタートする亀井塾が目指すのは、ものづくりのプ口への転換です。自分たちになが作れるか、ながが求められるか、だれが買ってくれるか。お客様に喜ばれるニーズに応える商品開発を軸にして給料アップに挑みます。



亀井塾 (社福) ひびき福祉会理事長 亀井 勝さん
 新塾塾 (社福) 武蔵野千川福祉会常務理事 新堂 薫さん
 武田塾 (社福) はらから福祉会理事長 武田 元さん

大阪会場

- 日程: 7/12 (金曜)
- 場所: 大阪国際会議場(大阪市北区中之島)



●小倉昌男賞受賞者
講演:(社福)まいづる
福祉会理事、ワークシ
ョップほのほの屋 施
設長 西澤 心さん

主体的に考え動き、誇りを持てる仕事を

13年前、5万円の給料を実現するため、西澤さんは一般レストランと競える質の高い店舗作りを決定しました。そこでさまざまな苦労を乗り越え、舞鶴市で一番の景観の敷地にレストランを建設し、一流シェフもスカウトしました。いまでは最高の料理と心のこもったおもてなしが評判となり、連日多くのお客様で賑わっています。昨年の総収入は1億円を超え、多い方では月給15万円を実現しました。

「給料が上がると人は良い意味で変わりますね。2万円で働き振りが違ってくる。5万円になると自分のためにお金を使え、生活が変わる。8万円になると貯金もでき、結婚や一人暮らしも考えるようになる。10万円を超えてくると、責任を持ってマネジメントも行い、頼れる存在に変わっていきます」。

フロントやバックヤードなど、ここで働く利用者さんは、みんな自分の仕事に誇りを持っています。

「例えば、グラスを磨きながら、それを使うお客様の喜ぶ姿を想像しているんですね。だから自らどうしたら良いかを考え工夫し行動する。利用者さんが自信を持って主体的に働けること、これがディーセントワークにつながるのだと私は思います」。

福岡会場

- 日程: 7/19 (金曜)
- 場所: エルガーラホール(福岡市中央区天神)



●小倉昌男賞受賞者
講演:(社福)ウイズ町
田 新規法人設立責任
者 天野 貴彦さん

立ち止まることなく、つねに新しい挑戦を

「新事業を立ち上げ、軌道に乗せると次の事業へ。それを繰り返してきました」と天野さん。例えば、弁当の配達事業を核に1年で給料月額3万円、3年後に5万円を達成。さらに、独自の就労支援のしくみをつくり、共同作業所と一般企業の架け橋を築きました。また、町田市にスワンカフェ&ベーカリー1号店、2号店もオープンしています。

「組織や法人も大きくなると小回りが利かなくなりですね。そこではいまの事業の一つを独立させ、よりスピード感ある新事業所を立ち上げようと考えています。利用者さんの生活を豊かにするために、自分にながでできるかを考え、挑戦し続けます」と立ち止まることなく進み続ける姿勢を伝えました。シンポジウムでは、会場の出席者からも前向きな意見が

次々と上がりました。「利用者さんの給料が上がれば、家族を含め周りの見方も変わる」「あれこれ悩む前に、まずは給料を上げるために動き出そう」などの声に、シンポジストも「一般の方は学校を卒業すると就職しお金を稼ぎます。それが難しい利用者さんを、給料という形で支えるのが我々の使命の一つ」と意見を述べ、議論を深めていきました。

東京会場

- 日程: 7/26 (金曜)
- 場所: 全社協・灘尾ホール(千代田区霞が関)



●小倉昌男賞受賞者
講演:(社福)キャンバ
スの会理事長、施設長
楠元 洋子さん

福祉を志す者の視点をビジネスに活かす

「どんな障がいのある子どもも、その力を発揮できるようにさまざまな仕事の間を創出したい」と話す楠元さん。お弁当の配達サービスからスタートした事業は、現在、食品加工工場、レンタルクリーニングなど多様に広がっています。

「大切なのは、お客様の声に応えた商品やサービスの改善です。配食サービスでは開拓先の学校や企業などにモニターになっていただき、みなさんの意見を反映していきました」。これにより1日200食だった販売量を1300食に拡大。その生産に対応するため、お弁当の下準備を行う食品加工会社も立ち上げ、障がい者の一般雇用も実現しています。

リネン事業では、つねにきれいで清潔なものを提供するにはどうすれば良いかを考え、「ユニフォームを複数セット用意してレンタルクリーニングする方法」に着眼。「これを実現するために地元の企業と連携して、ユニフォームを制作しました。本にお客様に喜ばれるものを提供するために、自分たちでできないことはアウトソーシングします」と楠元さん。他にも地元企業とコラボレーションし、地元食材を活かした牛肉の佃煮、味噌漬けちりめんなどの新商品も開発中です。

「福祉を志す者だから、気づけることがあります。それをどう活かすかが腕の見せ所です」と楠元さんは話しています。

『障がい者の暮らし変革塾(武田塾)』

社会福祉法人 一羊会
指定障害福祉サービス事業所
とうふ屋 丸木橋六兵衛

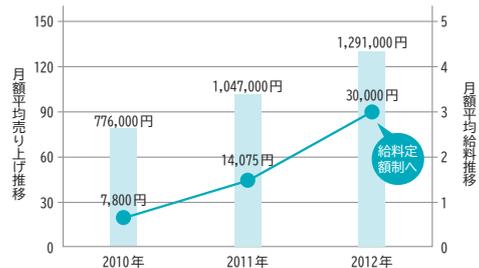
平成2年に4名の利用者さんと2名の職員で立ち上げた丸木橋六兵衛。内職作業で約1000万円の売り上げがありましたが、それ以上にはなかなか伸びません。平成18年“将来も安心できる施設”を目指し、勇気を持って内職・下請け作業を撤退。以前から交流のあった武田塾長より豆乳を仕入れ、豆腐の製造販売をはじめました。現在、売り上げを伸ばし、一羊会全体で92名に増えた利用者の生活向上、権利保障を基本に40名の職員で活動しています。



車の通りの多い街道沿いで売れ行きも好調

丸木橋六兵衛 3年間の歩み ※単位:万円

2013年の目標は給料定額4万円
※2013年4月の売上は1,485,369円と目標達成に前進している。



午前中で豆腐を製造、午後から大半の職員が営業へ

気と覚悟。見えているけど見えていないこと、やっていないことはたくさんある。新たに入塾される方は、これに気づいてほしい。

Q 今後の目標は?

齋藤 「定額給料4万円、そして5万円を実現するため新商品の開発などに挑んでいます。また、全国の塾生施設の商品でうちの豆腐に合う物を仕入れ一緒に販売することで付加価値を高め、リピーターをもっと広げるつもりです。」

澤田 「利用者さんの生活を守り、安心して暮らせる未来を築くため、いま我々は、豆腐以外の新規事業も視野に入れた『新しい覚悟』が必要などころにきています。」

やれるものならやってみよう！
その言葉に決意を固めた

Q 武田塾に入ったきっかけは?

澤田 「丸木橋六兵衛が豆腐事業をはじめたのは、設立から16年目の平成18年11月。製造担当は5名の利用者さんでした。豆腐の売れ行きは好調で6000円だった給料は2万円に上がりました。これを聞いた一羊会の他の事業所の利用者さんが豆腐事業に参加したいと徐々に人数が増え、2年後には45名になりました。しかし、それに見合う売り上げに達せず、給料は7800円にまで下がりました。売り上げを伸ばそうと販路拡大などに取り組みましたが、思うようにいかず悩んでいた時、武田塾の開講を聞き、この二人を送り出したのです。」

Q 武田塾で学んだことは?

齋藤 「意識改革の重要性ですね。例えば、人が働くのはより良い生活を求めるからで、経営者はその対価を払わなければならない。それは施設も同じなのだ、厳しく言われなければ、この意識を全職員に浸透させなければ、先には進めないとわかりました。そこではじめてのがPDC Aの徹底です。」

横尾 「それまでは1カ月単位の報告で、売り上げ確認もなんとなくでしかなかった。それをきちんと毎日報告するように変えたんです。だから、どこに行き、どれだけ売り上げを上げたか、その結果をグラフ化して全職員が見えるようにしました。これで職員の意識、取り組み方が大きく変わり、売り上げも着実に伸び

Q 仕組みから変えたのですね。

齋藤 「最も大きな点は、昨年から給料定額制に変えたことです。『売り上げも安定したのに、まだ定額にしないのか』と塾の研修会で指摘され、帰りの電車で二人して話し合いました。その時『やれるものならやってみよう！』という澤田統括の言葉を出し、よしやろう！と覚悟を決めたんです。」

横尾 「定額制は全職員がやらなければと思いつながら、踏み出せずにいたことでしたので、やると宣言してからは、全職員が一丸となって販売・営業に取り組みました。中には、いままでの倍以上の売り上げを出す職員も現れたんです。」

澤田 「なにことも大事なのは、勇



冷蔵設備のついた営業車で販売。お客さまが待っていてくれます

社会福祉法人 市川レンコンの会 第1レンコンの家

一般企業への就労を目指す方々が集まり、平成7年に市川レンコンの会は活動を開始しました。当初は4、5人と小規模でしたが、いまでは第1・第2・第3レンコンの家と規模を拡大し、約60名の利用者さんが働いています。また新しくハーモニー・レンコンを立ち上げ、高齢化した利用者さんのために、生活介護と働く楽しさを同時に満たせるような体制も整えています。

●主な事業…DMの封入封かん作業、袋製作、缶バッジ製作、ケーキやクッキー、ジャムの製造販売など。



第1レンコンの家

働く環境を変えたら、職員、利用者さんの意識も変化

Q 新塾塾に入った理由は？

「私たちは、そもそも給料5万円を目標にスタートしましたが、なかなか売上げが上がらず、2万円にも届かないというのが現実でした。これではいけない、なにか起爆剤になるきっかけがあればと、入塾することになりました」。

Q 学ばれた内容は？

「働く場としての環境づくり、作業を効率的に進めるラインづくりなどを学びました。しかし、最初



第1レンコンの家
施設長 船瀬裕さん

はなにかから手をつけて良いのかわからず、数字もなかなか伸びませんでした」。

Q 変わりはじめたきっかけは？

「塾長の新塾さんに、実際に私たちの施設まで現場指導に来ていただいたことが大きかったですね。その時、作業場に余暇の遊び道具が混在している、設備など働く環境が整っていない、座って作業では効率が悪く、細かく改善点をチェックいただきました。これで具体的になにを行うべきかが見えてきたのです」。

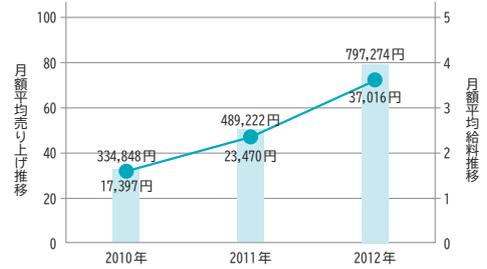
Q なにかからはじめましたか？

「これまで利用者さんは、施設は遊びに行くところで、そこでは作業もする」という感覚だったので、施設「働く場」へと意識転換を図りました。そこでホワイトボードを用意し、だれが、どこで、なにを作業する

市川レンコンの会 3年間の歩み ※単位:万円

2013年の目標は給料4万円

※2013年4月の給料は39,684円と、目標へ近づいている。



かを明確に書き出すようにしました。また、結束機、キャリコンテナなどの備品も助成で購入し、働く場としての環境を整えて行きました。環境が変わると意識も変わっていきくものです。いまではみんな施設に来ると、まずこのボードでなにをするのかを確認し、作業開始前までには、すぐに仕事をはじめられるように準備を整えるようになりました」。

目標を達成する度に ますますみんな意欲的に ましますみな意欲的に

Q ラインづくりの効果は？

「これまで一人ですべて行っていたDM作業を、封入する人、重さを測る人、封かんする人」と各工程で分業・連携するラ



毎朝、今日の仕事をボードで確認

測る人、封かんする人」と各工程で分業・連携するラ



全員が立ち作業で軽快に仕事をこなす

イン作業に変えました。すると効率が上がり、売上げも徐々に伸びはじめたのです。お給料も上がりはじめ、利用者さんのやる気も湧いてきました。職員も工夫次第で、もっと高い目標を達成できるのではと、積極的にいろいろと改善に取り組みようにならなりました」。

Q 例えばどんな工夫を？

「正規を作業台にセットし、作業しやすい道具を作るなど、随所に自分たちで工夫を凝らしています。大きな改善点は、立ち作業に変えたことです。以前、新塾塾長の施設・チャレンジャーを見学した時、全員が立ち作業されている姿を見て驚きました。これはきつい、うちには無理だろうと思いましたが、思い切って立ち作業用の台を導入したのです。最初は不安でしたが、慣れるまでは大変でしたが、いまでは仕事のスピードがはつきり違ってきています」。

Q 今後の目標は？

「大量・多品種・急ぎと、これまで

は敬遠していた仕事も受注できるようになりました。営業スタッフも採用し、新たに袋や缶バッジの製作という仕事も開拓しています。ここでもライン化は必須ですね。一つの仕事の売上げに頼らず、いくつかの仕事を柱にすることで、売上げを安定させ、まずは給料4万円へ。そして長年の目標の5万円を実現させます。これから塾に参加されるみなさんは、それぞれ不安を抱えていると思いますが、大切なのは本気になって行動に移すことです。お給料が上がれば、いままで買えなかった物が買えるようになったと喜ぶ利用者さんの姿を見れば、どんな苦勞も吹き飛びますよ」。

●袋製作もライン化で分業・連携



①サイズを測り台紙に折りを入れる
②次に折りに合わせて折り畳む
③最後は両面テープを付けて仕上げる

東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金

助成先を訪ねて



故郷の土地で、海で もう一度、仲間とともに

震災や放射能の影響で、いまなお多くの人が故郷を離れて暮らしています。「故郷の土地や海で、もう一度、仲間とともに働きたい」と、働く環境や新たな雇用の機会などを整えるために進められてきた復興事業。その一つひとつが次第に形になってきました。



【川内高原農産物栽培工場建設事業】

(第3次助成) 福島県川内村

LEDの光源に 包まれた栽培室で 川内村の 新しい農業がスタート



●完全人工光型
●鉄骨造、建築面積：2467.10㎡
●目標雇用数：25人

安心して帰村できる。
働ける環境を自分たちの手で

「今日、川内村から新しい農業がスタートします」。2013年4月26日、遠藤雄幸村長の挨拶とともに、新しく建設された「川内高原農産物栽培工場」のオープンングセ

レモニーが開催されました。

福島県双葉郡の中西部に位置する川内村の主要産業は、北から南へ連なる阿武隈高地の豊かな自然と水を生かした米や高原野菜の生産をはじめとする農業と畜産業です。しかし川内村は、一部が福島第一原発事故に伴う警戒区域に、30



新施設の計画を支えてきた川内村役場 復興対策課 井出 寿一課長(左)と復興対策課 遠藤雄夫主査

km圏内が緊急時避難準備区域に指定されました。全村避難を余儀なくされ、村民は住みなれた土地を離れ、全国に散らばり避難生活を送っています。

村民が故郷の川内村に安心して戻れるように、除染とともに農業再生と雇用機会を増やす新しい解決策が必要です。川内村では、村役場職員のアイデアで、土ではなく自慢の安全な地下水を利用した放射能に影響されない「水耕栽培の

導入を計画しました。

2012年1月31日には、緊急時避難準備区域も解除され、遠藤村長の呼びかけで帰村もはじまりました。しかし、まだ放射能汚染による稲の作付け制限や風評被害という厳しい状況は改善されていません。「なんとか戻れる可能性があるならば、自分たちの手でその可能性を広げていかなければ」と遠藤村長。そこでこの助成を活用し、2012年10月20日、水耕栽培工場の建設を開始しました。

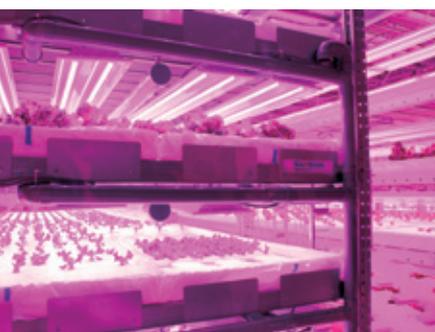
放射能を遮断した密閉式の 水耕栽培工場が完成

完成した施設は、土も太陽光も使用せず、安全な地下水と培養液によるコンピュータ制御の水耕栽培です。太陽光の代わりに光源にはLEDを活用。またクリーンルームにより外気を取り込まない完全密閉式で、放射性物質とは無縁の環境で安全に野菜を栽培します。オープンングセレモニーで遠藤

村長は「この野菜工場は、川内村の未来の農業の形です。安心、安全な川内村の野菜を全国に届けていきましょう」と挨拶しました。

15ラインの栽培室を4室備えた新施設は、1日最大約8千株のリーフレタスやハーブ類の栽培が可能です。現在の雇用人数は10名ほどですが、今後、需要が高まればより生産量を増やし、雇用機会も拡大できます。

現在、川内村には全村民約3千人のうち約1300人が帰村しています。村民の期待を集め、川内村の農業再生、地域復興のシンボルである新工場は動き出しました。



LED照明で紫色に光る工場内

【陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業】

(第3次助成) 社会福祉法人 陸前高田市保育協会

以前より10m高く、
400m内陸へ
広く安全な、
新しい保育園を建設



新保育園は以前の1.5倍の規模に

離れ離れになった
子どもたちを一つの保育園に

陸前高田市保育協会に属する竹



元気いっぱいの園児たちと村上園長(左)、熊谷事務局長(右)

駒保育園は、震災の3年前に海から6km離れた内陸部に建てられたばかりでした。そんなまだ新しい園舎を津波が襲います。迎えにき



完成したばかりの保育室にはもう子どもたちの息づかいが

た保護者に連れられ避難した子どもを除き、園舎には15名の園児と3名の保護者、そして職員10名が残っていました。そこに、川を逆流してきた津波が迫ってきます。村上和加恵園長をはじめ先生方は、子どもたちを抱えて山の上に避難し、難を逃れましたが、胸の高さまで達した津波は、大切な園舎も遊具もことごとく押し流してしまいました。

「津波の後、みんなで集まり掃除をはじめましたが、ここでの再建はもう無理だとわかり、子どもたちはバラバラに近隣の保育園に通うことになりました。それでも子どもたちに笑顔が消えなかったのは、先生方が各施設を廻り、子どもたちに声をかけ続けてくれたからです」と父母の会の大阪英人会長は、当時を振り返ります。

「一刻も早くお友だちと一緒に過ごさせてあげたい」。2012年

竣工碑には、被災の様相や助成の内容が
以下のように記されています。

竣工碑

平成二十三年三月十一日午後二時四十六分に発生した東日本大震災・大津波により陸前高田市では三一五九戸が全壊し、一七三三五名の尊い命が奪われた。竹駒保育園も大規模半壊したが、幸いに園児・職員は全員無事避難することができた。

保育園を失い、再建にめどがつかないなか、一縷の望みを託した公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金二億五千九百万円の助成が決定された。このことにより、園舎及び敷地、備品類、保育器材にいたるまでの整備が可能となった。竹駒保育園の再建は、陸前高田市復興の魁となるものであり大きな慶びとなった。

この支援には、竹駒地区住民のみならず全市民が衷心から感謝するものである。市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、市民一丸となり復興に邁進することを誓い、多大なる支援に応えるものとする。

東日本大震災・大津波の記憶と公益財団法人ヤマト福祉財団の復興支援を永久に記念するため竹駒保育園竣工にあたりこの碑を建てる。

平成二十五年三月吉日

社会福祉法人陸前高田市保育協会 理事長 藤井喜八郎
陸前高田市市長 戸羽 太



4月には、仮設園舎に当時、町に残っていた竹駒保育園の全園児37人が集まりました。しかし仮設園舎は狭く、園庭もわずか23mほど。このままでは、子どもた



気仙杉がふんだんに使われた園内



ちを思い切り遊ばせることもできません。未来の陸前高田市を担う子供たちのため、また地域で働く父母のためにも安全な高台で安心して保育ができる新たな保育園の建設は急務です。ところが高台移転には、現状復帰が原則の国の補助はつきませんでした。

「どうしたら良いのかと悩んでいた時、ヤマトさんの助成で新保育園を建設できるようになり、本当にうれしかったです」と保護者のみなさんは話しています。

ゆとりを持って伸び伸びと過ごせる環境へ

2013年3月29日、子どもたち、保護者、全職員が待ち望んでいた



新しい保育園から11名の園児が巣立っていきました

た新しい竹駒保育園が完成し、竣工式が執り行われました。陸前高田市のなかで、仮設ではない公共の建物ができしたのは、この施設が初めてです。竣工式で戸羽太市長は「子どもたちが笑顔でいることが、我々の復興の力になります」とお祝いの言葉を話しました。

新しく建てられた保育園は、木造平屋建て、建物761㎡、敷地4061㎡、現在職員は14名、園児が50名ですが、2〜3年後には園児70名を目指し、施設・定員とも以前の約1.5倍の規模になります。園内の設備は、すべてバリアフリー仕様。またLED照明器具を配置し、将来、太陽光発電のソーラーパネルも装備する予定です。建



一人ひとりに声をかけながら証書を渡す村上園長

設場所は、津波の心配を払拭するため、以前の場所よりも10mほど高く、約400m内陸に移動しました。

陸前高田市保育協会の藤井喜八郎理事長は「これからは、広く新しい施設で、子どもたちは、伸び伸びと過ごすことができます。お預かりできる児童定員数も70人まで拡大することができ、今後は、待機児童が生じないように、市民の方々の保育ニーズに答えられるよう、安心して子どもを預けられる施設を目指していきます。そのためにも、職員一丸となって保育園の運営に臨むつもりです」と挨拶しました。戸羽市長も「70名の定員があふれるくらい子どもたちが集えるように、子育てがしやすい環境を行政としても作っていきたいと思います」と話しています。

卒園しても、「ここを子どもたちの心の拠点に」

卒園しても、「ここを子どもたちの心の拠点に」

竣工式の前日の3月28日には、ピカピカの新しい新園舎で卒園式が行われました。卒園生は男児6人、女児5人の計11名です。

「今日、新しい竹駒保育園で、卒園式ができて本当にうれしいです。いままでたくさんのことを教えてくださった、園長先生や先生方、おいしい給食を作ってくださいました給食の先生、いつもそばで応援してくれたお父さん、お母さん、本当にありがとうございます。そして世界中から心のこもったプレゼントを、ありがとうございます。」

れからもありがたいとの感謝の気持ちを忘れず、小学校に行ってから「も羽ばたきます」と胸を張って子どもたちは、お別れの挨拶を行いました。

子どもたちに保育証書を手渡す村上和加恵園長の胸にもいままでのことが去来します。「いろいろな保育園に分かれさせてしまったこと。やっと一緒に過ごせるようになって、お遊戯



齋藤吉勝七ヶ浜支所運営委員長のノリ生産工場を視察。左より加藤佳之東北支社長、小野誠司七ヶ浜町産業課長、齋藤吉勝七ヶ浜支所運営委員長、木川社長、相澤良弘のり部会会長

室もない、園庭も狭い仮設の環境であったこと。子どもたちには本当に苦勞をさせてしまいました。それでもお父さん、お母さんが協力してくれたので、なんとか乗り越えてこれたと感謝しています。これからは、卒園してもここが子どもたちの心の拠点となるように、もう一踏ん張りして頑張っていこうと思います」と話しています。



加工作業所に導入された毎時7500枚の自動ノリ製造装置などの説明を聞く

TOPICS

ヤマトホールディングス(株)木川 眞社長が宮城県七ヶ浜町を視察しました

5月24日、ヤマトホールディングス(株)木川 眞社長が、津波で全壊し新たに建設がはじまった七ヶ浜町水産振興センター(第4次)と、宮城県養殖用資機材等緊急整備事業(第1次)の一つ、宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所運営委員会 齋藤吉勝委員長のノリ生産工場を視察しました。

視察を終えた木川社長は「地域の復興の先導役として動きはじめたところを拝見でき、本当にお役に立てて良かったなと思います。今後は作ったものが流通していけるかどうか、そこからあともグループ全体でサポートしていければ良いなと思います。みなさんと一緒に頑張ってください」と話しています。



七ヶ浜水産振興センター建設地

【「いわて三陸」夢あふれる漁業モデル創生プロジェクト】

(第5次助成) 三陸漁業生産組合

製氷、荷捌き施設も
完成し
漁業再生へ
これからが本番



水揚げ、生産の拠点となる新しい製氷、冷凍荷捌き施設

自分たちで獲り、加工・販売
する6次産業化を目指す

2013年5月11日、大船渡市
越喜来地区の三陸漁業生産組合が

建設していた製氷冷凍荷捌き施設が完成し、竣工式が執り行われました。竣工式で三陸漁業生産組合の瀧澤英喜組合長は「多くの方々の応援を受け、荒涼としたこの場所から新しい物語が生まれようとしています。私たちの夢がより多くの方々の夢となるように、そしてこの東北が再び元気に、そして豊かな場所によみがえるように、ご支援いただいた多くの設備をもとに、早速、本日からこの場所での業務をスタートさせていきます」と挨拶をしま



1月に進水式を行った共有使用船舶「第十七天王丸」の上に立つ熊谷善之理事。いまはタコ漁の準備中

した。震災で発生した津波は、防波堤の2.5倍以上の高さとなり、越喜来地区を襲いました。572隻あった漁船も500隻が流されてしまいます。一度に多くのものを奪い去られた漁師たちは、後継者問題などで先の見通しも立たず、立ち上がる気力すら失いそうになっていました。それでも「働きたい、海に戻りたい。この大草原で再び仲間たちと一緒に操業したい。その純粋な思いが仲間を束ね、被災した浜に小さな漁業生産組合が産声を上げたのです」と瀧澤組合長は振り返ります。そして、仲間と知恵を絞り合い、自分たちで獲った魚介を自ら加工・販売する6次産業化で、越喜来地区の漁業再生を目指す決意を固めました。



水揚げされた水産物を急速冷凍できる荷捌き施設の中に作られたCAS機能冷凍保管庫

若者たちが夢を抱ける
そんな新しい漁業を目指して

この助成を活かして、漁を再開するためのカニカゴ漁などの漁具を整備し、組合の共有使用船舶も購入。さらに水揚げ、生産の拠点となる新しい製氷、冷凍荷捌き施設も完成できました。

「4月末まで続いたイサダ漁が一段落し、これからはカニやタコのカゴ漁がはじまります。お盆くらいまでは、カゴ漁で忙しくなりそうです」と組合理事の熊谷善之さんはうれしそうに話します。さらに、ノドグロやツブ貝、タラなどの季節に応じた魚介を水揚げし、三陸海岸ならではの新鮮な海の幸

【高鮮度水産物供給施設整備事業】

(第1次助成) 宮城県

スラリーアイスで
水産物の
水揚げを高鮮度かつ
高品質に



1日10tのスラリーアスを供給可能

漁師たちの希望 漁船が
港に帰ってきた

宮城県が助成金6億円を活用して五つの漁港に導入を進めてきた「スラリーアイス製氷機」。スラリーアイスとは、海水中の水の分子を小さな粒状の水の結晶にし、殺菌処理した海水を混ぜてシャーベット状にします。そのため魚体を傷つけず、鮮度を維持できます。この

を、高鮮度で魅力的な商品として、漁師自らが加工・販売していきます。

「若者たちがこの町で水産業に就きたいと思える、そんな夢あふれる漁業へ」。越喜来地区の新しい漁業のスタイルを築き、より発展できるように、これからが夢のプロジェクトの本番です。

スラリーアイス製氷機の導入が、2013年3月1日、戸倉地域の波伝谷漁港にも完了しました。波伝谷漁港は、カキ、ギンザケ、ワカメなどの海面養殖業で栄えていましたが、津波により荷捌き施設などが、壊滅的な被害を受けてしまっています。

「最大で高さ38mの場所まで津波が襲ったと聞いています。組合員の8割の家屋が半壊、9割近く

の漁船が流されてしまいました」と、宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所の阿部富士夫所長。「当時はもう食べられるだけで精一杯。それでも負けずにガレキ撤去をはじめた漁協の姿に引っぱられて、みんな動き出しました。漁船の中には津波で山まで流されていたものがありました。これがまだ使えるとわかり、港まで運び入れた時は、思わず涙が出ました。この漁船が操業再開への希望だったので」と銀ザケ部会長の須藤正一さんは話します。3カ月後にガレキ処理を終え、その年の11月には山にあり無事だったギンザケの稚魚養殖施設の稚魚を放流しました。



宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所のみなさん

「いままででは製氷した水を砕いて箱に詰める手間がありました。スラリアアイス製氷機ならホースから必要な量を取り出すだけで随分と作業も楽になりました。いまもうひとつ荷捌き施設を、さらにカキ処理場の建設も計画しています。これらが完成したら、それでもスラリアアイスを活用したいですね」と阿部所長は話しています。

スラリアアイス製氷機は、震災前の製氷供給量と同量の10t/日を供給できます。



今年のギンザケの水揚げは1000tが目標



助成で荷捌き施設も完成



久慈市漁業協同組合のみなさん。左から松前潔工場長、嵯峨松男参事、浜道章専務理事

市場に水揚げされる水産物の一括処理、鮮度維持には、水供給施設が不可欠です。さらに製氷能力、貯氷能力のアップは、水揚量の安定化にもつながります。しかし、その建設費用は、いくら国からの助成があっても、県や市、町の大きな負担となっていました。そこで岩手県は、この助成を活用し、震災で被害を受けた13の魚市場の製氷・貯氷施設の導入を実現。2012年12月20日には、久慈市にも待望の施設が完成しています（久慈市で

水供給体制も整ったので
外来船の誘致に力を入れたい

【製氷・貯氷施設回復支援事業】

(第3次助成) 岩手県

震災前の2.5倍の
製氷能力で
魚市場の
水揚げ機能が安定



2012年12月に完成した新しい製氷・貯氷施設

の事業費10億3700万円のうち、岩手県、久慈市負担分の2/9相当額にこの助成を活用。

久慈市漁業協同組合の嵯峨松男参事は「津波が来た時、大きな漁船は沖へと逃げて、約40隻が無事でした。しかし、港の被害は甚大で、製氷、貯氷施設のほとんどが駄目になりました」と当時を振り返ります。それでも貯氷施設に、使える氷が残っていたのがせめてもの救いでした。

「被災した最初の年は、貯氷施設に残っていた600tの氷と、災害を逃れて稼働できた20tの製氷工場でなんとか乗り切りました。でも、市場が再開するととても足りなくなり、東京から移入氷を買って対応しました」と話します。

新施設が完成して製氷能力は、以前の2.5倍の1日50tに、貯氷能力は約2000tと強化され、魚市場の水揚げ機能も安定していきます。

「水を多く使うのはほとんど外

来船で、後は地元のイカやサケなどの定置網ぐらい。いまはこの量で対応できていますが、サバやサンマなどより多くの外来船を誘致できれば年間1万tの氷が必要で、不足分は移入氷に頼りますが、それくらいの水揚げにしたいものです。サンマが揚がるようになれば、サンマの加工工場もでき、町にも人も活気も戻ってきますからね」と嵯峨松男参事は話しています。



角氷7枚が1t、1パレットにのせて動かす



2階から降りてくる角氷をパレットに載せて貯蔵室へ



できあがった角氷を水のプールへ入れる

この街で、
一緒に生きていく。



公益財団法人ヤマト福祉財団
障がい者のクロネコメール便配達事業

配達が大変な坂の地域だから、 僕たちが手を挙げた。

広島県廿日市市、JR広島駅から約40分のJR大野浦駅近くに「あいあい作業所」があります。メール便配達を始めて9年目。急な坂道が多い山間部から宮島を臨む海沿いまでの広い地域を、6人のメイトさんが交替で、元気に配達しています。



長く急な坂道でも、いつも走って車に戻る宮中道男さん。自分で地図を購入し、3倍に拡大して、配達場所を確認しています。「いつか地図がなくても配達できるようになりたい」と話します。

2005年2月、広島市で行われたある研修会で「あいあい作業所」の武地成章施設長は、初めてメール便配達事業について知りました。その時は「うちにはほど遠い仕事だな」と思ったそうです。しかし、「やる気があれば、相談してほしい」と言われ、背中を押された思いがして、エントリー。「あいあい作業所」の近くに、「配達が大変な地域」があると知ったこともきっかけとなりました。

それは一般のメイトさんが配達を引き受けることに二の足を踏む、道が狭く、急な坂道の多い山間部でした。それなら数人でチームを組んで配達すればいい。自分たちならできるのではないかと、すぐに手を挙げたと言います。早速、車を1台、営業車として登録。4カ月後にはメール便配達事業を開始したのです。

何度もいねいに確認し、ミスを見逃さない。

朝、9時。武地施設長の運転する車に同乗した3人のメイトさんは、

車が停まると、メイトさんたちはすばやく降りて配達先へ。細い道が多いため、停車場やルートに工夫があります。



- 広島主管支店 広島大野センター
面積71Km²/人口25,085人/世帯数9,677世帯
- 特定非営利活動法人 あいあいの会
就労継続支援B型事業所「あいあい作業所」

2005年6月からメール便配達事業を始めて9年目。登録しているメイトさんは6名。1日の平均配達数、約150冊。その他は、段ボール折り作業などの仕事に従事。

「障がい者のクロネコメール便配達事業」
参入施設数 320施設 従事者数 1,626人 (2013年6月現在)
お問い合わせは…… (公財) ヤマト福祉財団 メール便担当
TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165
<http://www.yamato-fukushi.jp/>

大野センターでその日のメール便を受け取ります。他の配達地域のメール便が紛れていないかをチェックし、持ち帰り用の箱にすばやく入れ替えます。その後、「あいあい作業所」へ戻り、配達地域別に分類。山間部を含む広域エリアは、施設長が配達順に並べていきます。

また、「あいあい作業所」の周りの地域は、徒歩で配達しているメイトさんの三浦照正さんが、自分で配達順にセットします。次に、メイトさんが2人1組で、小さなメール便を見逃していないかなどをいねいに確認しながら、端末機で登録をします。作業所に戻ってから、150冊余りの配達準備が整うまで約10分。テキパキとした仕事ぶりでした。

「最初は誤配、遅配の不安がありました。でも、ヤマト運輸の方から障がいを持つ方はいねいな仕事を



以前は家具の配達をしていた、岡谷昌浩さん。チカラ持ちで仕事が大好き。番地と名前を確認して間違えないように、細心の注意を払います。「場所を覚えて、一人で配達してみたい」という目標を持っているそうです。



メール便を手渡しする沼津治城さん。ポストイングするときは、必ず住所や名前を声に出して確認するそうです。「今は2~3冊ずつを配達しているけれど、一度に10冊ほど持ってぐるりと回りたい」と話します。

するから、その確率は低いと聞いたんです。実際にやってみて、それは本当だと実感します。職員の思い込みによる間違いを、逆に指摘されることもあるんですよ」と武地施設長はうれしそうに話します。

旧姓が多く、旧番地も残る地域。

配達エリアには同じ名字が多く、同姓の家がひとつの地域に隣接しています。さらに、今もまだ旧番地表記を使っている住戸があるそうです。しかも、この旧番地は家が建った順につけられたため、例えば、8500番と8501番が隣り合っていないこともあります。

摘されることがあるそうです。

「最初から丸8年続けているメイトさんがいます。新しい職員が入ったときに、メイトさんが職員に道を教えたり、間違いを指摘していました。しかも、私が口を酸っぱくして言っていた「確認して」というフレーズをそのまま職員に言っているのを聞いて、感動しました」と笑う武地施設長。

クレームは過去8年間でたった1件だけ。雨で濡らしてしまったメール便を、配達したことがあったそうです。それ以来、よりよい取扱いを心がけています。

決めたのは、臨機応変なルール。

山間部は坂が多く、細い道がくねくねと続きます。駐車しやすいポイントで車を止めると、すぐにメイ



メール便は、町名別に分けて、さらに大きく3ブロックに分類。メイトさん全員で約150冊を仕分けします。



三浦照正さんは、周辺地域に詳しく、地図が頭に入っているため、仕分けを頼める人として信頼されています。写真の背景は、「あいあい作業所」から命名された「古川あいあい公園」。

さんたちが降りて四方に歩き出します。1冊配達してすぐに車に戻る人、数冊配りながら、次に車が止まるポイントまで歩く人。そして、何回か配達しているうちに決めたのは、メイトさんがいつも同じ席に座らないというルールでした。座る席で、配達地域は決まっています。席をどんどん替えていくことで、全員が全地域を知るといふメリットにつながっています。また、雨の日は滑りやすいため、配達に3倍以上時間をかけることも。坂道の多いエリアだからこそ、細心の注意が求められていました。

仕事を通して劇的に変わったメイトさん。

沼津治城さんは、2009年に配達を始めたときには、言語障がいがありました。そして、〇丁目〇番地

的確な作業にさらなる活躍を期待。

〇号という数字を覚えられなかったそうです。それが最初の2年半で、目を見張るほど変化。今では言葉もとてもスムーズで、数字も3つ続けて言えるようになりました。医療では時間のかかるリハビリですが、毎日の仕事によって、短期間でその効果を上げたのです。

「メイトさんが1人ずつ端末機を持ってるように、現在、手配中です。ミスしても構わないので、端末機を使いこなせるようチャレンジしてほしい。たとえ誤配をしてもヤマト運輸のドライバーがカバーできます」とヤマト運輸 広島主管支店 広島大野支店 高橋利樹支店長。

「ヤマト運輸自体も、障がいのある方が活躍できる職場づくりを目指

しています。現在、大野センターでも1人採用予定があり、研修をしました。驚いたことに、その間に変わったのは、本人だけではなかったこと。周りがその人をサポートすることで、確実にやさしくなりました」

「あいあい作業所」にはこれからも期待していると、うれしい言葉で締めくくりました。

3年前には、地域の新しい公園が「あいあい作業所」にちなんで「古川あいあい公園」と命名されました。町の人と一緒に草取りをし、バザーを開いたりする活動を続けてきたこと、そして、9年目に入ったメール配達事業によって、メイトさんたちの存在がすっかり町に溶け込んだ証しといえるでしょう。



左から、ヤマト福祉財団 中国支部 務長、岡谷昌浩さん、宮中道男さん、沼津治城さん、あいあい作業所 武地成章施設長、広島主管支店 広島大野支店 高橋利樹支店長

国立国際医療研究センターのクリーニングスタッフとして、初めての仕事に就いた矢野宏樹さん。初給与は想像以上の額で、いままであきらめていたいろいろなことが実現できると大喜びです。



洗濯長の高橋弘樹さん(右)と矢野宏樹さん(左)

初めて手にしたお給料 夢はどんどん膨らみます

■ヤマト自立センター スワン工舎新座 就労に必要なスキルの習得はもちろん就労先の開拓からジョブコーチによる就労後のサポートまで一貫したプログラムで、障がい者の自立支援に取り組んでいます。

■独立行政法人 国立国際医療研究センター 平成5年に「国際医療協力」を主旨として国立高度専門医療センター(National Center)に指定。以来、幅広い領域を視野に入れた総合的医療を基盤に、高度な先進医療の提供を目指して社会に貢献されています。



クリーニングし乾燥が終わった服を作業台へ運ぶ



手術着など種類ごとにひとつずつ丁寧に畳んでいく

矢野宏樹さん/国立国際医療研究センター(平成25年4月1日入社)

通勤は1時間以上かかりますが、電車好きの矢野さんにはそれが楽しみのひとつです。初めての給料では、新宿の高野でメロンパンを買い、生活費と一緒にお母さんに渡しました。以前、高野のメロンパンは美味しいよね、と家族が話していたのを覚えていて、こっそりプレゼントしました

適材適所の仕事で職場に定着し、長く働いてほしい

矢野さんの担当は、クリーニングを終えた院内スタッフの手術着などを畳む作業です。多い時では、300着以上をこなします。

「朝着た手術着を昼にまた使えるようにと、回転が非常に速い仕事ですが、それでも一つひとつ丁寧に仕上げるのが大切です。これが最初はみんなうまくできません。でも矢野さんは、実習の時からきちんとできて驚きました。スワン工舎で教えるスキルの高さを感じました」と洗濯長の高橋さん。

国立国際医療研究センターは、さまざまな職種の方が約2千名も働く大きな病院です。職種ごとに衣類も異なり、畳み方も違います。また、種類ごとに畳んだ服の数をボードに記入していくなど、覚えることもたくさんあります。

「矢野さんは、飲み込みも早く1カ月ほどで必要なポイントを覚えしました。仕事も的確で素早く、頼りにしています」と高橋さん。

「高橋さんが丁寧に教えてくれましたから、すぐに覚えることができました」



独立行政法人 国立国際医療研究センター 人事部人事課課長 堀之内勝志さん

「できたのだと思います」と矢野さん。

矢野さんにとって、初めて会社勤めをして手にした給料は10万円以上。想像より多くびっくりしました。

「鉄道が大好きなので、鉄道関係のイベントや乗り鉄で楽しく使わせてもらおうと思います。お金を貯めて、いままで金銭的にあきらめていたワイライイトエクスペレスで旅をするという夢も実現したいなと思っています。働くことで夢がどんどん膨らみはじめた矢野さん。それを人事部の堀之内勝志課長にお伝えしました。

「それは良かったですね。当病院では、平成22年10月から障がいのある方の雇用をはじめ、ここで働きたいという意欲のある方を積極的に採用しています。基本的に非常勤雇用ですが、事務、受付、清掃、洗濯などの業務を用意して、適材適所で活躍いただいています。矢野さんは、とても積極的で頑張っている現場から聞いています。ぜひ長くここで働いてほしいです」と期待を込めて話しています。



東京支社

平成25年度障がい者福祉助成金 全国で贈呈式を 行いました

3月26日に助成先58件、総額5126万円が決定。全国のヤマト運輸各支社、助成先施設にお伺いし贈呈式を行いました。

(決定一覧は裏表紙に掲載)



関西支社



四国支社



中部支社



中国支社



北信越支社
施設に伺って贈呈式を行いました



九州支社
施設に伺って贈呈式を行いました



関東支社



平成25年度障がい者福祉助成金決定一覧

1. 障がい者給料増額支援助成金

単位(万円)

地域	事業所名	決定金額
宮城県 遠田郡	(株)まちの豆腐屋プロジェクト 涌谷とうふ店	100
茨城県 水戸市	くれよん工房	100
群馬県 前橋市	ゆずりは	100
群馬県 前橋市	ワークハウスドリーム	95
埼玉県 川越市	川越いもの子作業所	88
千葉県 習志野市	障害福祉サービス事業あかね園	100
山梨県 甲府市	すみよし作業センター	86
東京都 国立市	就労継続支援A型事業所とものにー	99
長野県 上田市	ワークハウス塩寄苑	100
長野県 上田市	障害者就労継続支援センターわっこ	100
静岡県 三島市	けるん就労移行支援事業所	100
静岡県 富士宮市	富士山ドリームビレッジ	96
静岡県 三島市	手づくり工房イルカ	100
愛知県 名古屋市中区	ワークセンターフレンズ星崎	100
愛知県 愛西市	MotherKitchen	99
愛知県 名古屋市中区	港ワークキャンパス	81
愛知県 刈谷市	オサカナパルGUTS!	100
京都府 京都市南区	京都市洛南障害者授産所	74
京都府 亀岡市	かめおか作業所	80
京都府 京都市東山区	なづな学園	33
京都府 八幡市	!-factory	100
大阪府 岸和田市	岸和田障害者共同作業所	100
大阪府 大阪市北区	中津サテライトオフィス	100
兵庫県 加古郡稲美町	ワークルームふれあい	100
兵庫県 尼崎市	ハオ作業所	100
兵庫県 姫路市	ワークスノバ田寺	90
兵庫県 丹波市	きらめきワーク	100
和歌山県 日高郡みなべ町	なかよし作業所	100
和歌山県 紀の川市	けいじん舎もぎたて農産加工所	96
和歌山県 有田郡有田川町	早月農園	100
島根県 出雲市	エルパティオ三葉園	100
岡山県 玉野市	地域活動支援センター手毬の里虹	100

単位(万円)

地域	事業所名	決定金額
広島県 呉市	ジョブサポートぼかぼか	100
山口県 美祢市	あそかの園	100
香川県 高松市	特定非営利活動法人らでいっしゅ福祉会	100
香川県 高松市	だんしエコ作業所	59
香川県 坂出市	一般社団法人楽笑	100
愛媛県 八幡浜市	いきいきプチファーム	60
福岡県 田川郡赤村	瑞穂学園	100
福岡県 大牟田市	恵愛ワークセンター	100
佐賀県 佐賀市	まごころ授産所	100
熊本県 水俣市	グループ・エコ	100
大分県 佐伯市	太陽農園	36
宮崎県 宮崎市	ブライトハウス住吉	100
宮崎県 都城市	ななえ福祉作業所	100
鹿児島県 薩摩郡さつま町	株式会社光の郷	100

2. 障がい者福祉助成金

単位(万円)

地域	事業所名	決定金額
神奈川県 横浜市	社会福祉法人訪問の家	100
東京都 渋谷区	キリスト教メンタル・ケア・センター(CMCC)	40
東京都 新宿区	特定非営利活動法人日本障害者協議会	40
東京都 港区	NPO法人日本喉摘者団体連合会 公益社団法人銀鈴会	100
新潟県 新潟市	NPO法人日本ブラザー・ウィリアム症候群協会	100
静岡県 袋井市	特定非営利活動法人ママもっと笑って	20
滋賀県 近江八幡市	きょうざれん滋賀支部	100
京都府 綾部市	社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 いこいの村聴覚言語障害センター	100
大阪府 大阪市	社団法人大阪聴力障害者協会	20
兵庫県 明石市	あかし発達支援連絡会	55
福岡県 福岡市	福岡市自閉症協会 高機能自閉症アスペル ガー症候群部会タンポポ	94
福岡県 北九州市	特定非営利活動法人北九州市視覚障害者自立 推進協会あいず	85



Information of the Art

シャガール展



《サン＝ボールの上の恋人たち》
1970-71年/油彩、キャンヴァス/個人蔵
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo
2013, Chagall®

日本未公開作品を中心とした約250点を一堂にマルク・シャガール(1874-1985)はロシア(現ベラルーシ)出身の20世紀を代表する画家です。世界が第一次大戦、第二次大戦と激動するなか、熱心なユダヤ教徒の家庭に生まれ育ち、フランス、ロシア、アメリカを転々とする波乱に満ちた生涯が、シャガールの芸術活動に

深くかかわっていることはいまでもありません。シャガールは、宙を舞うカッブルや動物、鮮烈な色彩などに代表される幻想的な作品の他にも、第二次世界大戦後の後半生には、歌劇場や美術館、大聖堂などの公共空間を飾るモニュメント(記念碑的作品)も手がけています。本展では、華やかなパリ・オペラ座の天井画をはじめ、エルサレム・ハダサー医療センターやフランス各地を飾るステンドグラスとその下絵など、シャガールの代表的なモニュメント作品を日本で初めて本格的に紹介します。

本展の美術品取り扱い扱いにヤマトロジスティクス株式会社は協力しています。

開催期間▶2013年9月3日(火)~2013年10月27日(日)
休館日▶月曜日(ただし9月16日, 9月23日, 10月14日は開館)、9月17日, 9月24日, 10月15日
開催場所▶宮城県美術館

- 【仙台の市街地から】川内方面を目指して広瀬通りを西向きに進み、仲ノ瀬橋を渡ってまもなく、JR仙台駅から車で約10分。
 - 【東北自動車道・仙台宮城 I.C. から】仙台西道路を「仙台方面」に入り、トンネルを抜けて市街地に出てから、仙台城址方面を経由して美術館へ。I.C. より約15分。
- 開館時間▶9:30~18:00 ※入館は閉館の30分前まで

観覧料(税込)▶

	一般	学生	小・中学生、高校生
当日	1,500円	1,300円	800円

○シャガール展に関して、障がい者のおおよび付添者1名様は半額料金(付添者は身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級・2級の方の付添のみ半額となります)
○入館の際に障害者手帳などをご提示ください

- 主催▶宮城県美術館、河北新報社、TBC東北放送
後援▶在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、IBC岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島
特別協力▶メレット・メイヤー、マルク・シャガール国立美術館、マルク・シャガール国立美術館友の会、パリオ国立オペラ座
協賛▶トヨタ自動車
協力▶ヤマトロジスティクス、日本航空、エールフランス航空、損害保険ジャパン
企画協力▶北海道立近代美術館、北海道新聞社、キュレーターズ
巡回情報▶広島県立美術館 2013年11月3日(日)~12月25日(水)
静岡市美術館 2014年1月2日(木)~3月30日(日)
愛知県美術館 2014年4月17日(木)~6月8日(日)



読みやすさを追求した書体

